

①取組基本方針

公園の特色を活かす

- ・歴史遺産と連携・協力して、地域の魅力を高める公園

民間活力の導入

- ・公園の豊かな自然と地域の歴史を深く楽しむことができる公園

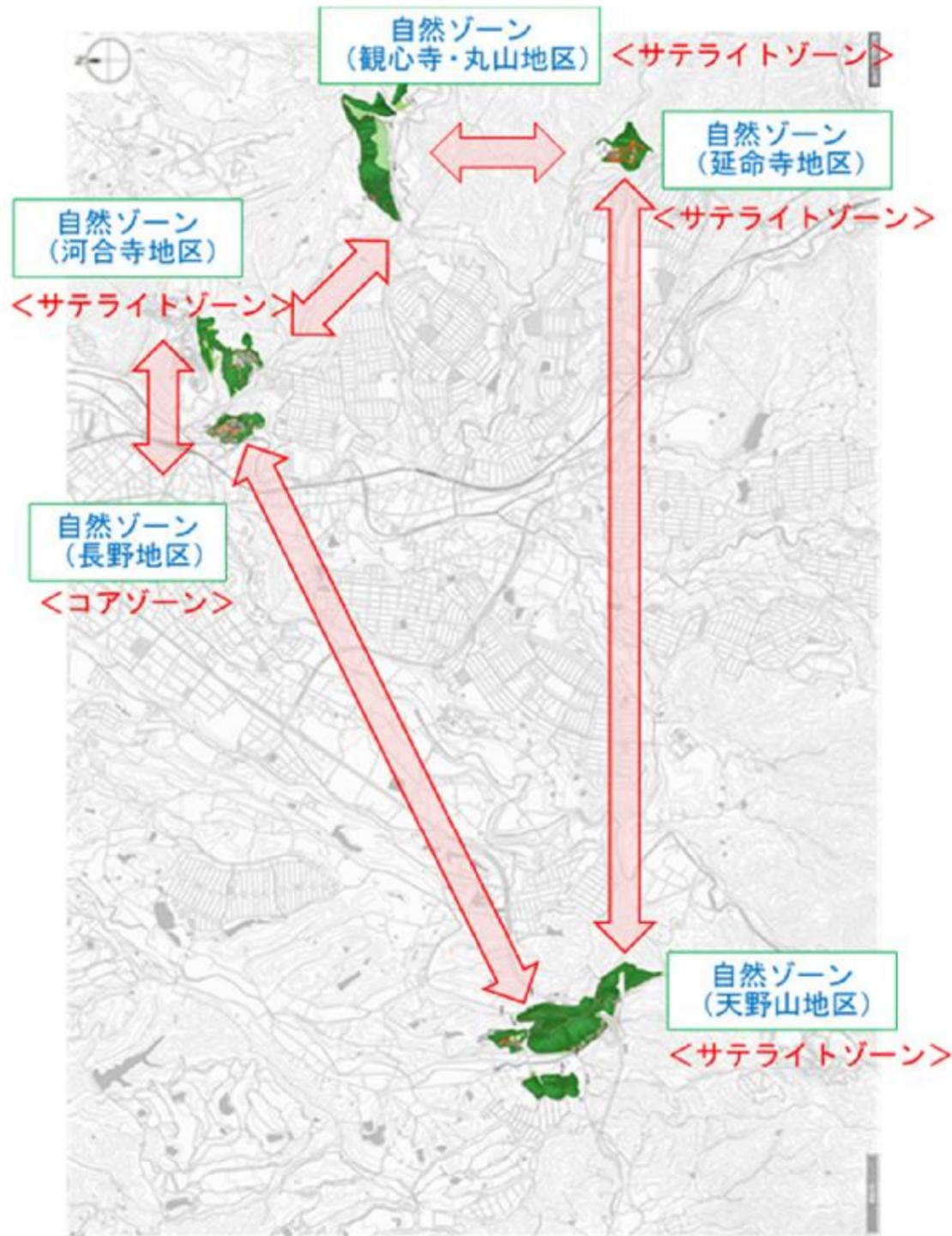
安全・安心・快適

- ・山の樹木を守り、周辺住民が安心できる公園

都市の環境を保全

- ・山の花木やモミジなどを利用者が楽しむことができる公園
- ・山の生き物と触れ合うソフト事業等が展開される公園

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

自然ゾーン（長野地区）

- 駅に最も近く、周辺の展望を活かし、子供や家族づれが生き物やみどりにふれあう地区

自然ゾーン（河合寺地区）

- 豊富な花木や金剛・和泉・葛城の山々の眺望などの良好な景色を楽しむ地区

自然ゾーン（延命寺地区）

- 延命寺の一部を借地し、紅葉、深い樹林やハス池などの歴史的な景観を楽しむ地区

自然ゾーン（観心寺・丸山地区）

- 日本遺産に認定された観心寺の一部を借地し、紅葉、うっそうとしたスギ・ヒノキの林や明るい尾根の散策を楽しむ地区

自然ゾーン（天野山地区）

- 日本遺産に認定された金剛寺の一部を借地し、ムササビのいる原生林やスギ・ヒノキの大木の林のある、野外教育やディキャンプを楽しむ地区

<参考>公園の概要

- ・概要：大阪府南東部、金剛山麓の南側に位置する。昭和26年10月に旧長野遊園地跡の長野地区、河合寺地区、観心寺・丸山地区、天野山地区の4地区が長野公園として開設され、昭和32年10月に新たに延命寺地区が編入、5地区となった。全面積46ha、これらはいずれも楠木一族南朝ゆかりの遺跡の多い所である。
- ・開設面積：46.3 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約21万人
- ・開設年度：昭和26年10月20日
- ・主要施設：広場（長野地区、天野山地区）、あじさい園（河合寺地区、長野地区）、展望台（長野地区、河合寺地区、観心寺・丸山地区、天野山地区）、回廊休憩所（長野地区）、休憩所（河合寺地区、延命寺地区、天野山地区）、キャンプ場（天野山地区）、児童遊戯場（長野地区、天野山地区）、便所（長野地区、河合寺地区、延命寺地区、天野山キャンプ場）、公園管理事務所

④取組の主な方針

運営管理の方針

- ・観心寺や延命寺の歴史ある寺院等と、景観面などで互いに協力しながら、その関係をさらに深めていくなど、歴史性のある立地条件を活用し、地域の活性化に貢献する。
- ・山の公園の特性を活かした四季の風景を楽しめるハイキングや、5か所の展望台をめぐるウォーキング等、健康づくりの場を提供する。
- ・風致林を守るとともに、斜面地を保全し、周辺住民が安心できる公園づくりを推進する。
- ・樹木剪定や火災予防を行い、安全にも配慮しながら山の自然を楽しめるよう、天野山キャンプ場を管理運営する。

維持管理の方針

- ・延命寺地区の「蓮池（千重紅）」は、池全面のハスが繁茂し開花するよう、適切かつ継続的に管理を行うとともに、その養成等、長期的な視点で維持管理を行う。
- ・長野地区、河合寺地区の「あじさい園」は、毎年、あじさいの開花時には一面が花で鮮やかになるように、長期的な視点で維持管理を行う。

